

看護キャリア開発センター通信 Vol.13

H28.10 発行

【保健看護学部教員の臨床研修】

現場の看護を体験し、学生指導に活かしていくことや自身の看護実践能力を向上させることなどを目的として、保健看護学部教員が附属病院の希望する部署で研修ができる仕組みを整えました。

8月には武用准教授がICUと7階西病棟で4日間の研修をおこない、「久しぶりの現場看護はとても楽しかったです。ケアを通して現場の看護師の大変さや頑張りについても改めて知ることができ、多くのことを学びました」と感想を述べられました。

一緒に行動した看護師も「とても緊張しましたが、先生と一緒に話合えることは学生指導をおこなっていく上でも大切だと思うので、コミュニケーションが深められて良かったです。」と話されていました。

教員と看護師、互いに良い刺激を受けられる充実した研修となっています。



【看護技術支援～呼吸器管理～】

9月20日、臨床工学センターの協力のもと呼吸器管理の技術支援を開催しました。取り扱い方法やアラーム時の対応などの説明はもちろん、実際に呼吸器に触れて操作しました。

呼吸器管理の技術支援は11月～12月、2月にも開催します。呼吸器管理のスキルをブラッシュアップしたい方、参加お待ちしております。

感想

「質問に丁寧に答えてくれ、理解できた」
 「部署で使用することが少ないので、実際に操作できて良かった」
 「難しいモードもあったので自己学習を深めようと思った」
 「自己学習よりも理解できた」



【キャリア支援サロン】

10月13日に第2回目となるキャリア支援サロンを開催しました。今回のテーマはDMAT。15名の方が参加してくれました。

DMAT 隊員になるには、どんな活動をしているのか、また熊本地震発生から活動に至るまで、現地での活動など、実際の写真を提示しながら説明して頂き、大変興味深く聞くことができました。

アンケートでも「とても満足」「満足」と全員が回答。「DMATについて初めて講演を聞き興味を持った」という方もいました。

皆様のご協力ありがとうございました。次回のサロン開催は未定ですが、聞いてみたいテーマがありましたらセンターまでご意見をお寄せください。



発表者の
中野さんと波元さん
隊服を着ての講演



【ナースィング・スキル閲覧状況】 ※のべ数

平成28年度も半年が経ちました。この半年間のナースィングスキルの活用状況はどうでしょうか。附属病院看護職員と保健看護学部それぞれの、閲覧回数の多い手技を掲載します。

| 附属病院看護職員 | | | 保健看護学部 | | |
|----------|------------------|-------|--------|-----------|-----|
| 1位 | バイタルサインの測定：呼吸 | 1104回 | 1位 | 分娩中の看護 | 73回 |
| 2位 | フィジカルアセスメント：胸部：肺 | 1000回 | 2位 | 褥婦のアセスメント | 72回 |
| 3位 | 静脈注射：ヘパリンロック | 876回 | 3位 | 授乳指導 | 45回 |